

**Iwatani**

# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月16日  
岩谷産業株式会社  
〔証券コード 8088〕

（見通しに関する注意事項）

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。  
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

# 目次

## 1. 2023年3月期第2四半期 決算実績

- 決算ハイライト
- 連結経営成績（増収分析）
- 連結経営成績（増益分析）
- 連結経営成績（セグメント別）
- セグメント別営業利益分析
- 貸借対照表（連結）
- キャッシュ・フロー計算書

## 2. 2023年3月期通期業績予想

- 通期業績予想
- セグメント別見通し
- 株主還元について

## 3. 成長戦略

- 中期経営計画PLAN23の進捗
- PLAN23における投資実績
- 「脱炭素社会の実現」に向けた取り組み

## ※ 統合報告書発行

# 2023年3月期第2四半期 決算実績

## ▶ 対前年で増収・増益となり、売上・全ての利益項目で過去最高を更新。

### 2023年3月期第2四半期 決算概要

- 売上高は、LPガス輸入価格が高値で推移したことに加え、各種市況上昇への対応を着実に進め、全セグメントで増収。
- 利益面は、LPガス市況要因が対前年マイナスとなったものの、主力商品の販売が堅調に推移したこと等により増益。
- トキコシステムソリューションズ(株)・東京ガスエネルギー(株)の株式取得。資金として、200億円の社債を発行。
- 通期業績予想を上方修正。(11/9発表)

売上高

**4,132**億円

前年同期比 +1,162億円 (+39.1%)

営業利益

**144**億円

前年同期比 +8億円 (+6.0%)

経常利益

**184**億円

前年同期比 +19億円 (+11.6%)

四半期純利益

**123**億円

前年同期比 +20億円 (+19.5%)

■ 営業利益 四半期推移 (億円)



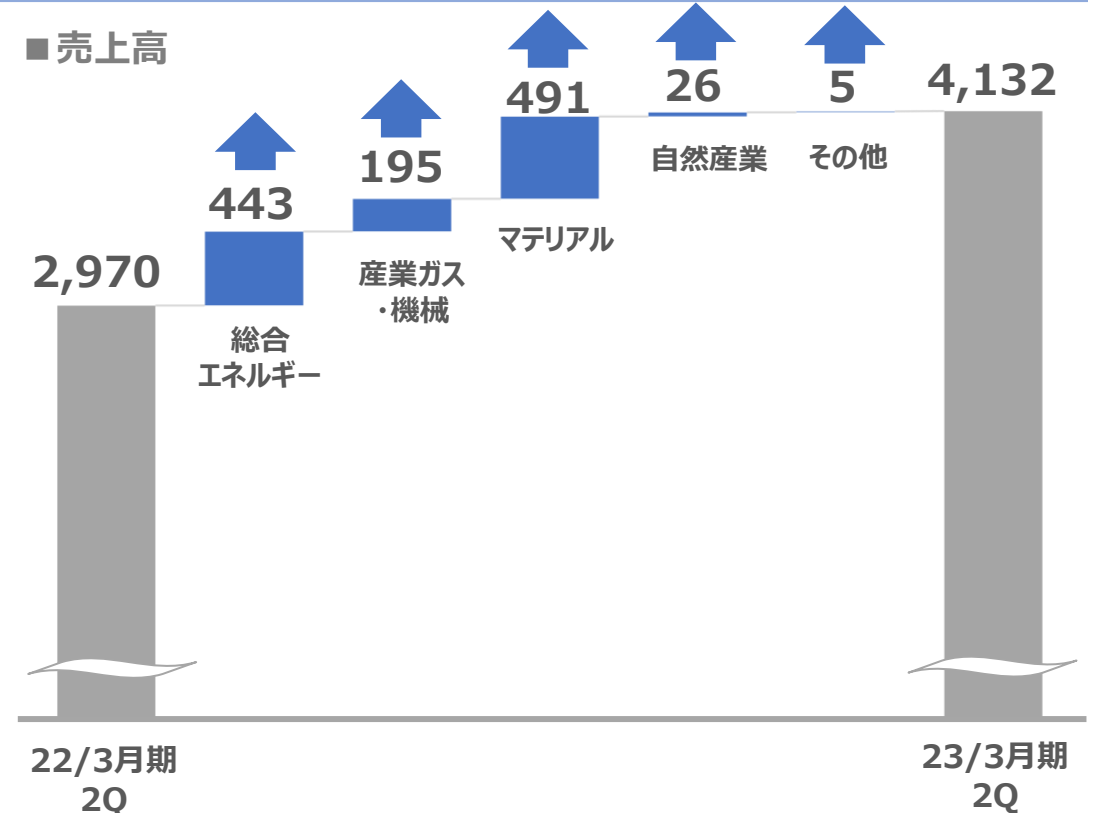
# 連結経営成績（増収分析）

	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額 (増減率)
売上高	4,132	2,970	+1,162 (39.1%)
売上総利益	981	870	+110 (12.7%)
営業利益	144	136	+8 (6.0%)
営業外損益	39	28	+11 (38.5%)
経常利益	184	165	+19 (11.6%)
市況要因を除く 経常利益	179	143	+35 (25.1%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	123	102	+20 (19.5%)

### 増収要因

- LPガス輸入価格の高値推移
- 製造コストの増加や原材料の市況上昇への対応

※第2四半期として過去最高の売上高



# 連結経営成績（増益分析）

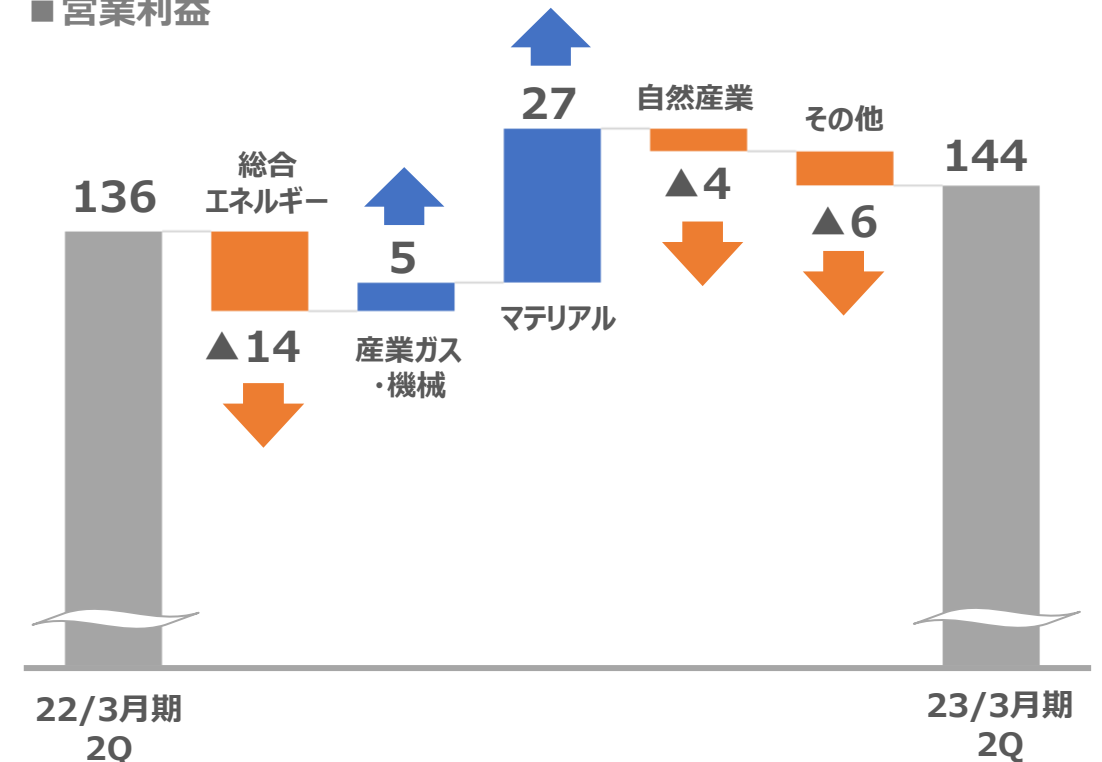
	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額 (増減率)
売上高	4,132	2,970	+1,162 (39.1%)
売上総利益	981	870	+110 (12.7%)
営業利益	144	136	+8 (6.0%)
営業外損益	39	28	+11 (38.5%)
経常利益	184	165	+19 (11.6%)
市況要因を除く 経常利益	179	143	+35 (25.1%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	123	102	+20 (19.5%)

## 増益要因

- 営業利益は、LPガス市況要因が対前年同期でマイナスとなったものの、主力商品の販売が堅調に推移し、増益
- 販管費は、販売増に伴う運搬諸掛の増加や、新規連結子会社の影響等により、増加

※すべての利益項目で第2四半期として過去最高益

### ■ 営業利益



# 連結経営成績（セグメント別）

	2023/3月期2Q 実績	2022/3月期2Q 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	4,132	2,970	+1,162	+39.1%
■ 総合エネルギー	1,689	1,245	+443	+35.6%
■ 産業ガス・機械	1,079	883	+195	+22.2%
■ マテリアル	1,190	699	+491	+70.2%
■ 自然産業	143	117	+26	+22.7%
■ その他	29	24	+5	+22.7%
営業利益	144	136	+8	+6.0%
■ 総合エネルギー	39	54	▲14	▲27.4%
■ 産業ガス・機械	65	60	+5	+8.8%
■ マテリアル	57	29	+27	+95.3%
■ 自然産業	1	5	▲4	▲71.5%
■ その他・調整額	▲19	▲13	▲6	-
経常利益	184	165	+19	+11.6%
市況要因を除く経常利益	179	143	+35	+25.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	102	+20	+19.5%

# LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

前提

① 卸売価格はLPガス輸入価格に連動

LPガス輸入価格  
(中東玉と米国玉で構成)

リンク

卸売価格

② 輸入～販売の期間は約3ヶ月



LPガス輸入  
価格が変動

短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※2

上昇局面

安い在庫を高値で販売

売値の基準

増益効果

原価の基準

LPガス輸入価格

(約3か月)

下落局面

高い在庫を安値で販売

(約3か月)

原価の基準

減益効果

売値の基準

LPガス輸入価格

※2 在庫量・販売時期・販売数量によって実際の業績への影響は変動します

Copyright © Iwatani Corporation. All rights reserved.



## セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

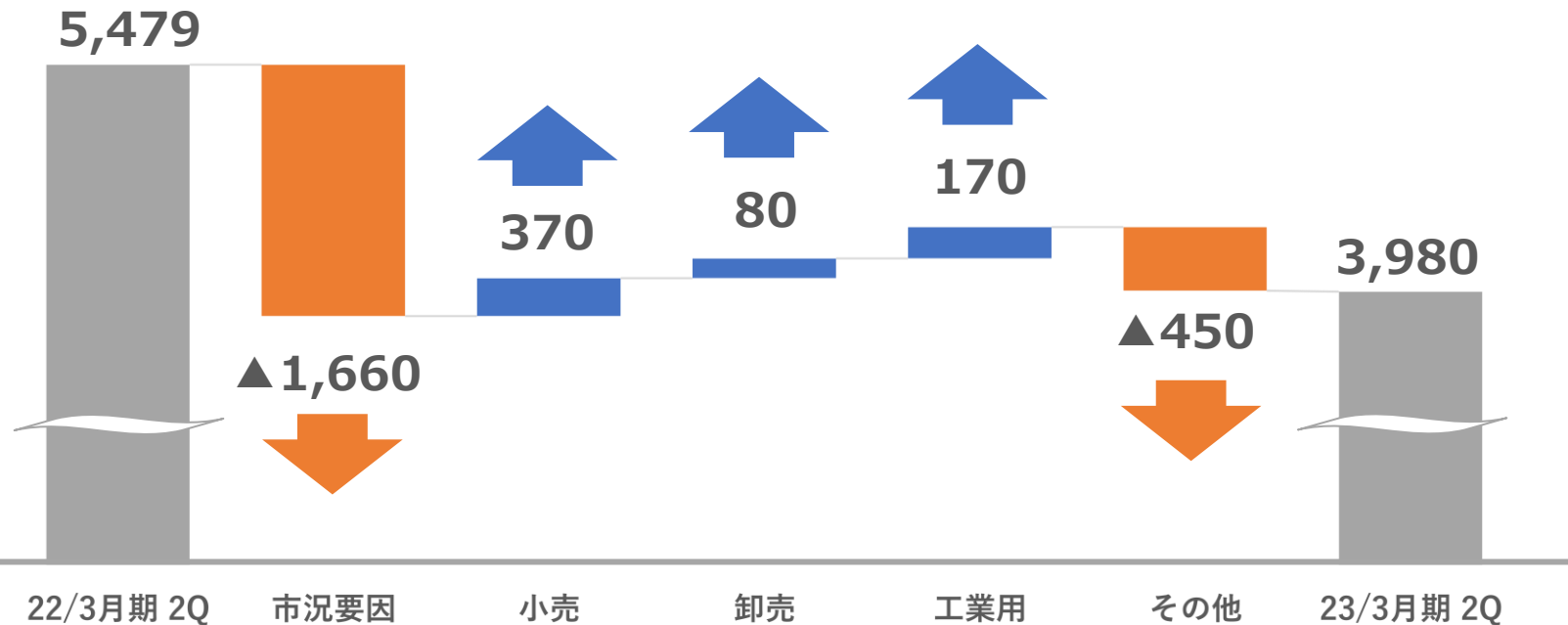
## 決算実績

(単位：億円)

	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	1,689	1,245	+443	+35.6%
営業利益	39	54	▲14	▲27.4%
市況要因除く 営業利益	34	32	+1	+5.2%

## 営業利益増減分析

(単位：百万円)



## 主な営業利益増減要因

## ■市況要因 ▲1,660

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	+20.4	▲15.0	+5.3	-	-	-
前期	+11.0	+11.0	+22.0	+49.1	+8.5	+79.7
差異	+9.3	▲26.0	▲16.6	-	-	-

## ■小売 +370

- ・業務用の需要回復
- ・輸入価格上昇に対する販売価格への転嫁

## ■卸売 +80

- ・需要回復により販売増加

## ■工業用 +170

- ・増熱用LPガスの販売増加

## ■その他 ▲450

- ・カセットこんろ・ボンベの売上が伸長
- ・大型設備案件の反動減

当期末の直売顧客数：約110万世帯

## セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

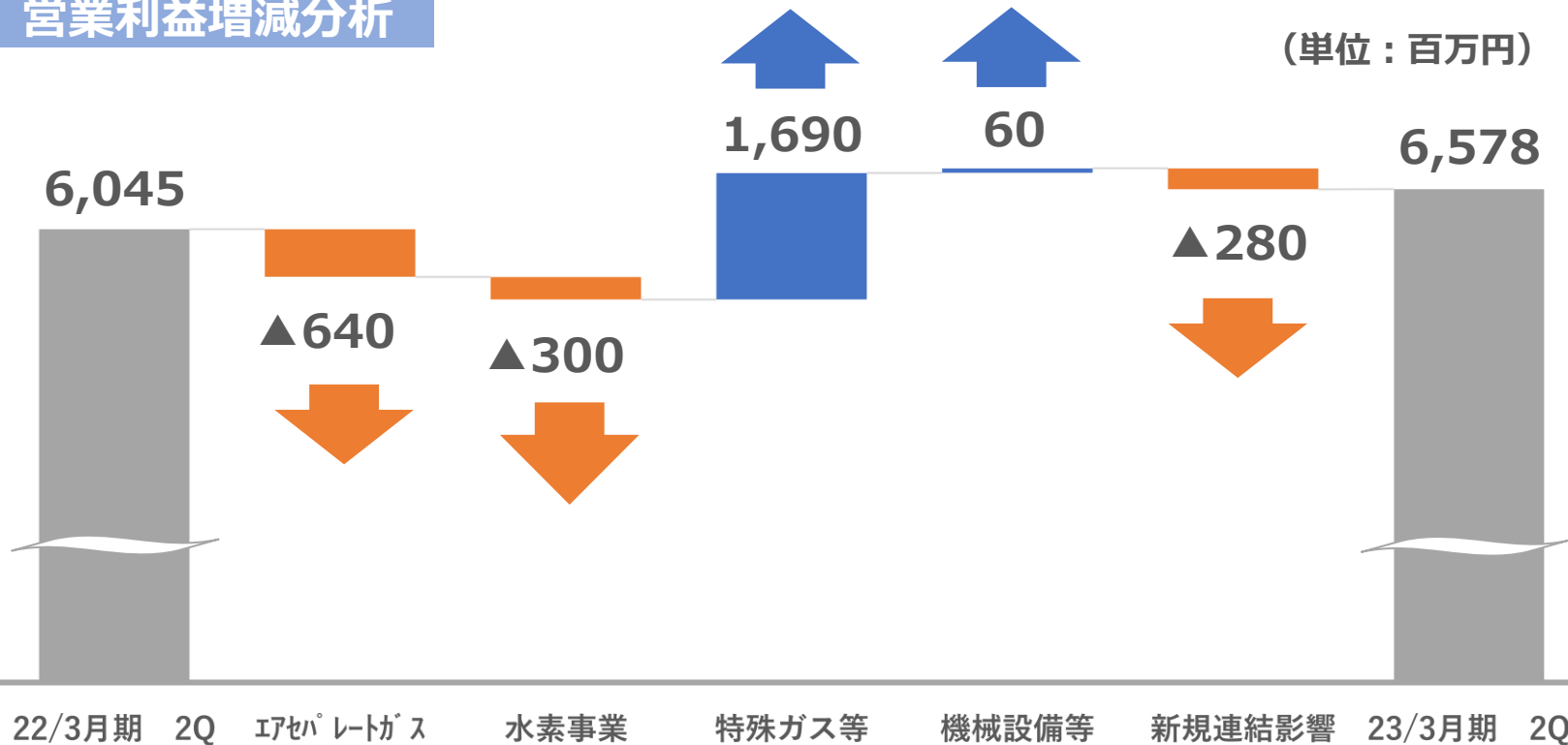
## 決算実績

(単位：億円)

	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	1,079	883	+195	+22.2%
営業利益	65	60	+5	+8.8%

## 営業利益増減分析

(単位：百万円)



## 主な営業利益増減要因

- **エアセパレートガス ▲640**
  - ・自動車業界向けを中心に販売減少
  - ・電力料金上昇による製造コストの増加
- **水素事業 ▲300**
  - ・液化水素の販売伸長
  - ・電力料金上昇による製造コストの増加
  - ・水素ステーションの増設に伴う運営費用の増加
- **特殊ガス等 +1,690**
  - ・ヘリウムの安定調達及び安定供給
  - ・市況高騰のなか半導体ガスの販売伸長
- **機械設備等 +60**
  - ・半導体関連機器の販売が堅調
- **新規連結影響 ▲280**
  - ・新規連結の影響による一時的な費用の発生

＜電力・LNG料金上昇の影響＞  
前年同期比 +約1,400百万円

# セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

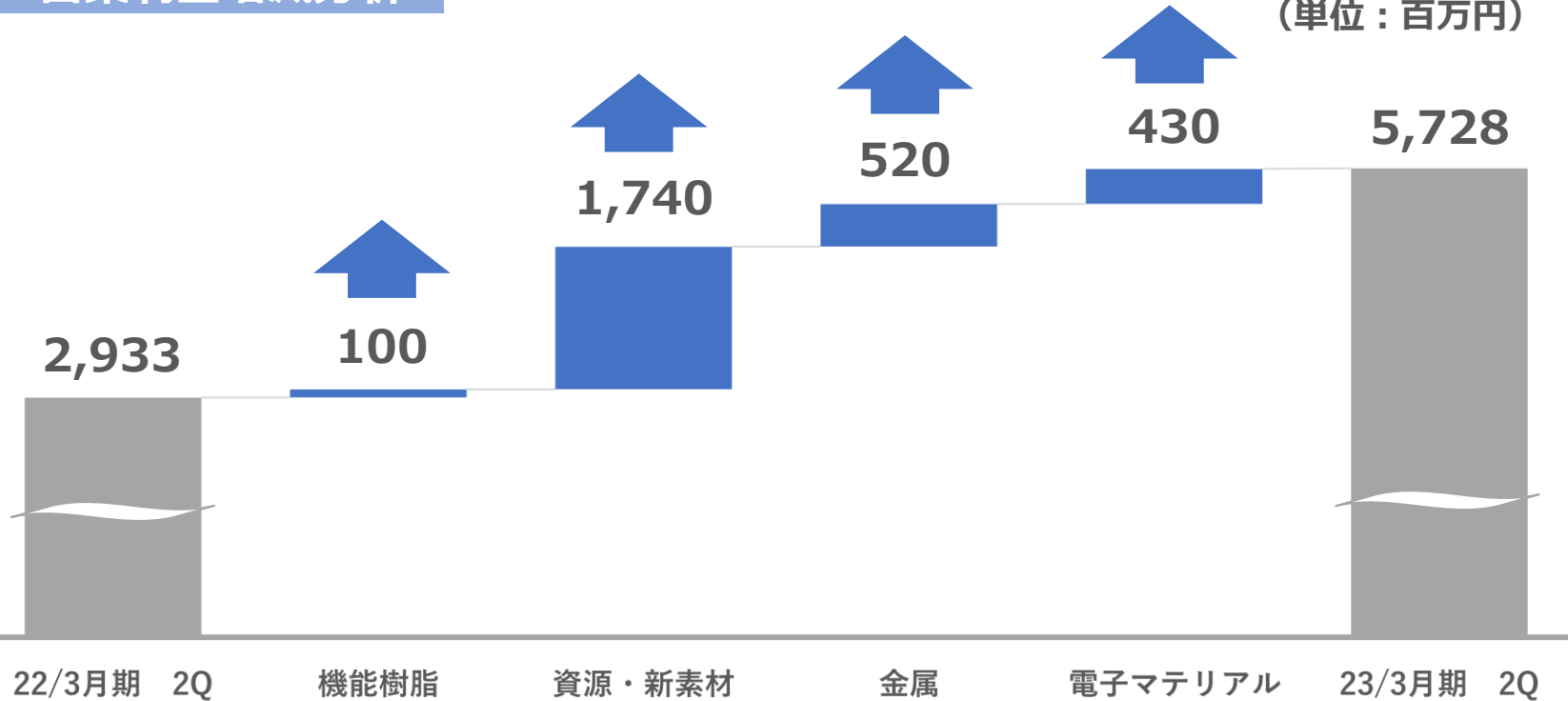
## 決算実績

（単位：億円）

	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	1,190	699	+491	+70.2%
営業利益	57	29	+27	+95.3%

## 営業利益増減分析

（単位：百万円）



## 主な営業利益増減要因

- 機能樹脂 +100**  
 ・低環境負荷PET樹脂の販売増加
- 資源・新素材 +1,740**  
 ・ミネラルサンドの市況が高騰する中、安定供給を確保
- 金属 +520**  
 ・ステンレスの新規顧客への販売伸長
- 電子マテリアル +430**  
 ・次世代自動車向け二次電池材料の新規顧客への販売増加

## セグメント別営業利益分析（自然産業事業）

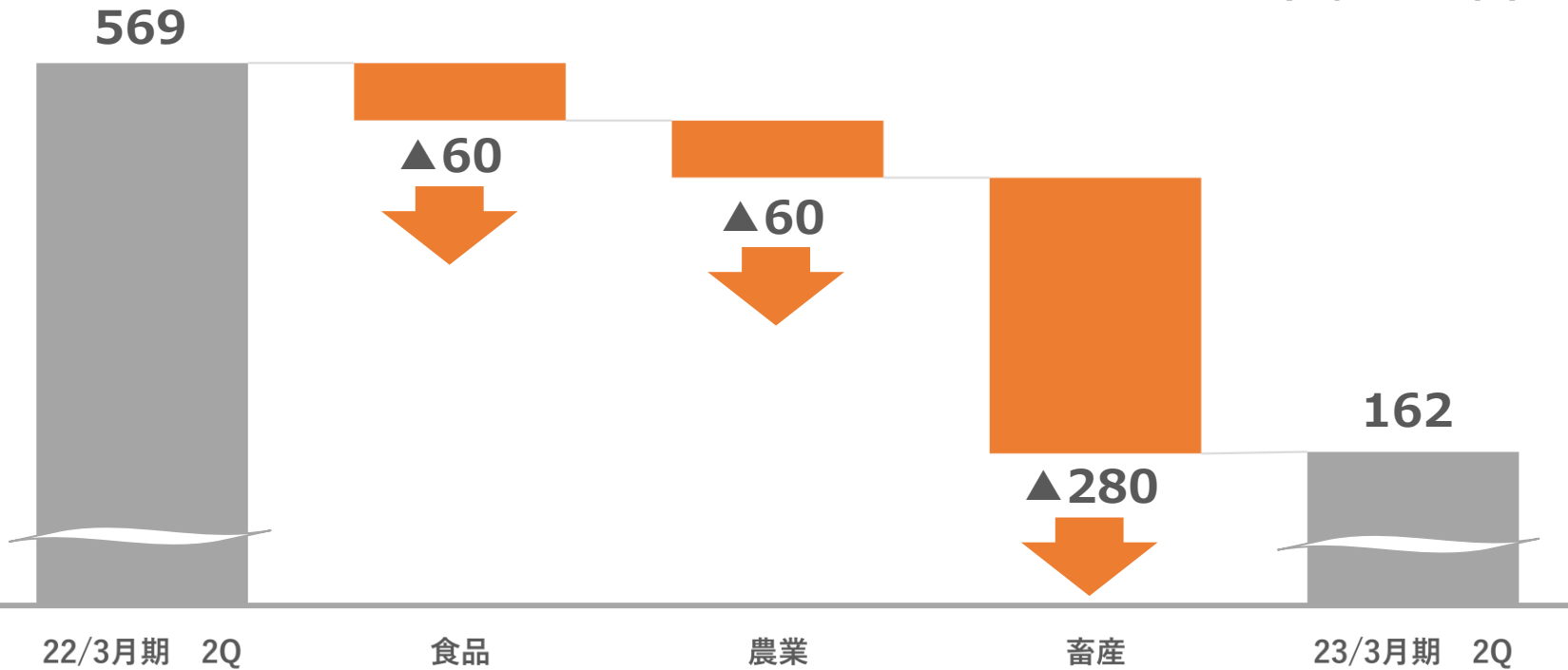
## 決算実績

(単位：億円)

	2023/3月期 2Q 実績	2022/3月期 2Q 実績	増減額	増減率 (%)
売上高	143	117	+26	+22.7%
営業利益	1	5	▲4	▲71.5%

## 営業利益増減分析

(単位：百万円)



## 主な営業利益増減要因

- **食品 ▲60**
  - ・業務用冷凍食品及び一般消費者向け商品の販売増加
  - ・仕入コストや物流費等の高騰による収益性低下
- **農業 ▲60**
  - ・農業設備案件の減少
- **畜産 ▲280**
  - ・種豚販売頭数の減少
  - ・飼料価格の高騰による収益性低下

# 貸借対照表（連結）

- 棚卸資産や売上債権の増加のほか、買収に伴い発生したのれん等の影響により総資産は増加。
- 買収資金として200億円の社債発行、市況高騰による運転資金増加等により有利子負債が増加。

（単位：億円）

	2022年 9月末	2022年 3月末	前期末比 (増減額)	主な増減理由・備考
流動資産	3,043	2,594	+449	棚卸資産や売上債権の増加
（有形固定資産）	2,009	1,857	+151	新規連結子会社影響、 水素ステーション建設やLPGセンターへの投資
（無形固定資産）	326	161	+164	新規連結子会社影響（のれん）
（投資その他の資産）	1,000	970	+29	
固定資産	3,336	2,990	+346	
総資産	6,380	5,584	+795	
（流動負債）	2,150	1,863	+287	短期借入金の増加
（固定負債）	1,292	918	+373	長期借入金の増加
負債	3,443	2,781	+661	有利子負債 1,644億円 有利子負債依存度 25.8%
（自己資本）	2,829	2,701	+128	自己資本比率 44.3%
（非支配株主持分）	107	101	+5	
純資産	2,936	2,803	+133	
負債・純資産	6,380	5,584	+795	

# キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは5億円の支出。投資キャッシュ・フローは、積極的な投資等により350億円の支出となり、結果、フリーキャッシュ・フローは355億円の支出。

(単位：億円)

	2023年3月期 中間実績	2022年3月期 中間実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	▲5	24	▲29
投資キャッシュ・フロー	▲350	▲157	▲192
フリー・キャッシュ・フロー	▲355	▲133	▲221
財務キャッシュ・フロー	366	10	+355
換算差額等 ※1	24	9	+15
現預金等の増減額 ※2	35	▲113	+149
現預金等の期首残高	295	384	▲88
現預金等の期末残高	330	270	+60

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております

# 2023年3月期 通期業績予想

# 2023年3月期の通期業績予想

	2023年3月期 修正予想	2023年3月期 期初予想	増減額	増減率 (%)
売上高	8,400	8,030	+370	+4.6%
■ 総合エネルギー事業	3,478	3,592	▲114	▲3.2%
■ 産業ガス・機械事業	2,282	2,282	±0	0%
■ マテリアル事業	2,290	1,806	+484	+26.8%
■ 自然産業事業	307	307	±0	0%
■ その他	43	43	±0	0%
営業利益	400	350	+50	+14.3%
■ 総合エネルギー事業	167	156	+11	+7.1%
■ 産業ガス・機械事業	141	134	+7	+5.2%
■ マテリアル事業	114	82	+32	+39.0%
■ 自然産業事業	11	11	±0	0%
■ その他・調整額	▲33	▲33	±0	-
経常利益	465	410	+55	+13.4%
市況要因を除く経常利益	459	410	+49	+12.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	300	265	+35	+13.2%

※2022年11月9日公表

Copyright © Iwatani Corporation. All rights reserved.

## 想定レート

・期初予想からの変更：あり

(上期実績)

為替 128.8円/\$

L P ガス輸入価格 783 \$ / トン

\*2022年3月-9月平均

(下期想定)

為替

120円/\$ ⇒ 140円/\$

L P ガス輸入価格

750 \$ / トン ⇒ 630 \$ / トン

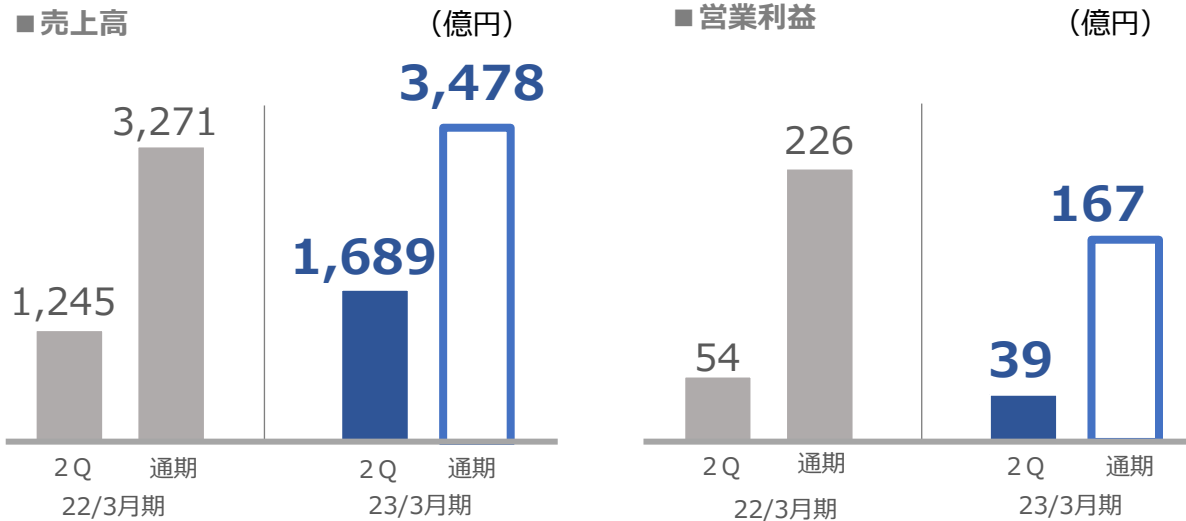
## 配当予想

2023年3月期 85円/株

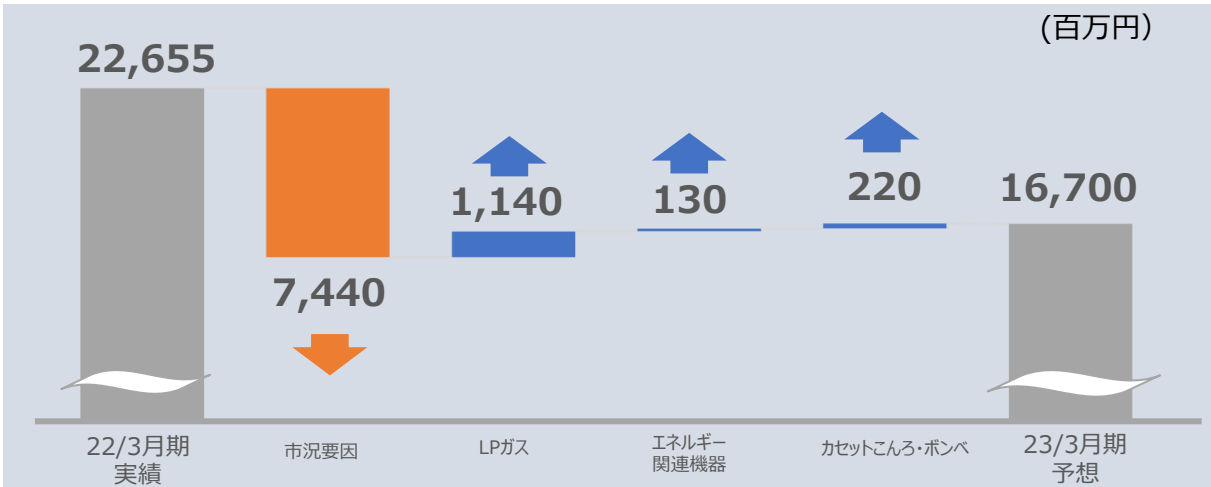


# 総合エネルギー事業の見通し

## 売上高・営業利益の進捗



## 営業利益増減見通し



## 通期業績予想の達成に向けて

### ・市況要因

▶ 上期実績+5.3億円、下期0億円。対前年で▲74億円の影響。

### ・LPガスの拡販

▶ 全国ネットワークを活用したM&A推進による直売顧客数の拡大。  
▶ 燃料転換の推進や、増熱用LPガスの拡販を強化。

### ・エネルギー関連機器の拡販

▶ 半導体不足等による主要商品の納期遅延は解消傾向。

### ・カートリッジガス事業の拡大

▶ 中国での原材料価格上昇分の転嫁による収益改善。  
▶ 東南アジア、米国での拡販を強化。

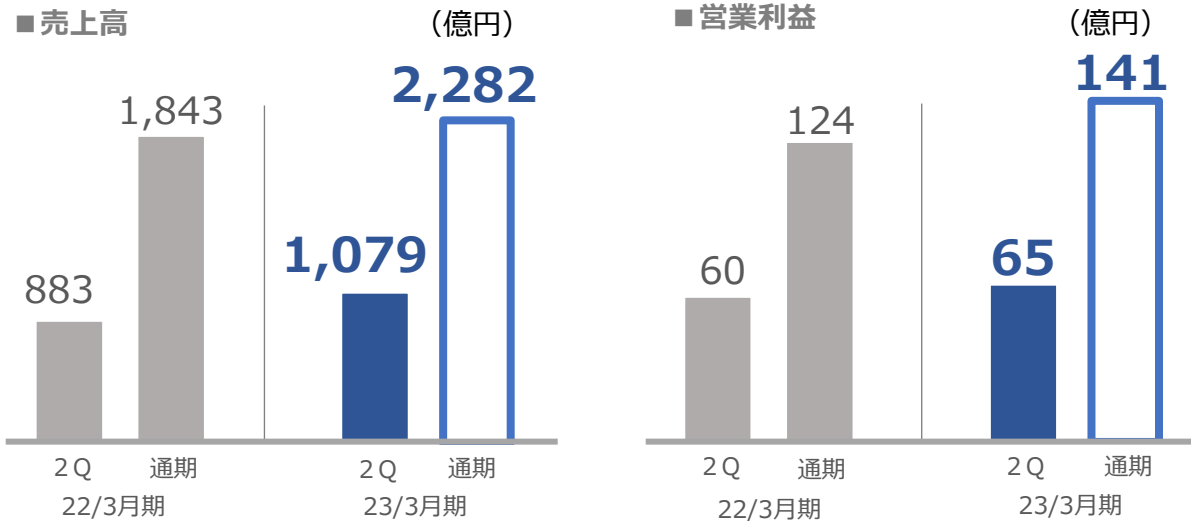
## 業績が変動する主な要因

### ・LPガス輸入価格、為替の変動

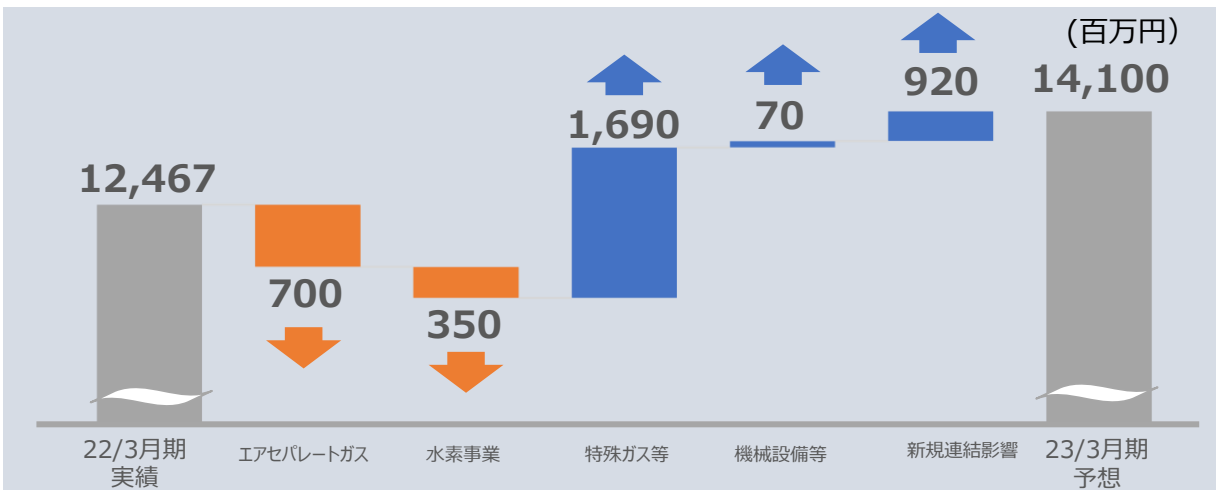
### ・気温変動による民生用LPガス販売数量への影響

# 産業ガス・機械事業の見通し

## 売上高・営業利益の進捗



## 営業利益増減見通し



## 通期業績予想の達成に向けて

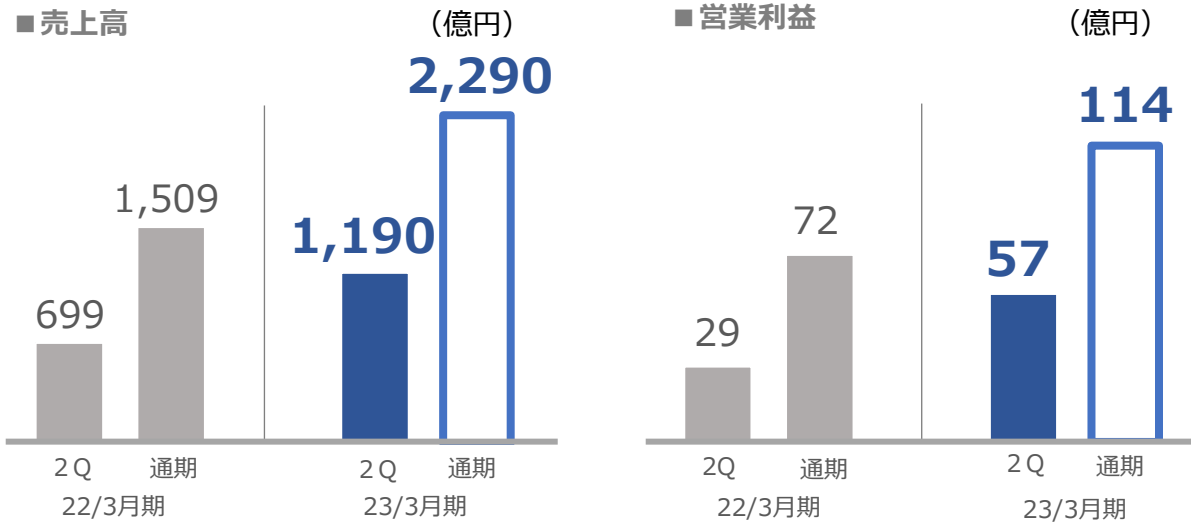
- ・エアセパレートガスの適正な価格転嫁と拡販**
  - ・電力料金の上昇に伴う製造コスト増加は下期も続く見通し。
  - ・半導体不足の解消によるユーザーの工場稼働率上昇とともに、拡販を強化。
- ・液化水素の適正な価格転嫁と新規需要創出**
  - ・電力料金やLNG価格の高騰による製造コスト増加は下期も続く見通し。
  - ・産業用に加え、実証用等の新規需要開拓を積極的に推進。
- ・特殊ガスの事業拡大**
  - ・ヘリウム需給がタイトな状況が継続するが、安定供給に注力。
  - ・炭酸ガス、半導体ガス等の拡販を強化。
- ・機械設備の拡販**
  - ・自動車業界減産により関連産業も影響を受けており、先行き不透明な環境。
  - ・半導体関連等成長分野向けの販売を強化。

## 業績が変動する主な要因

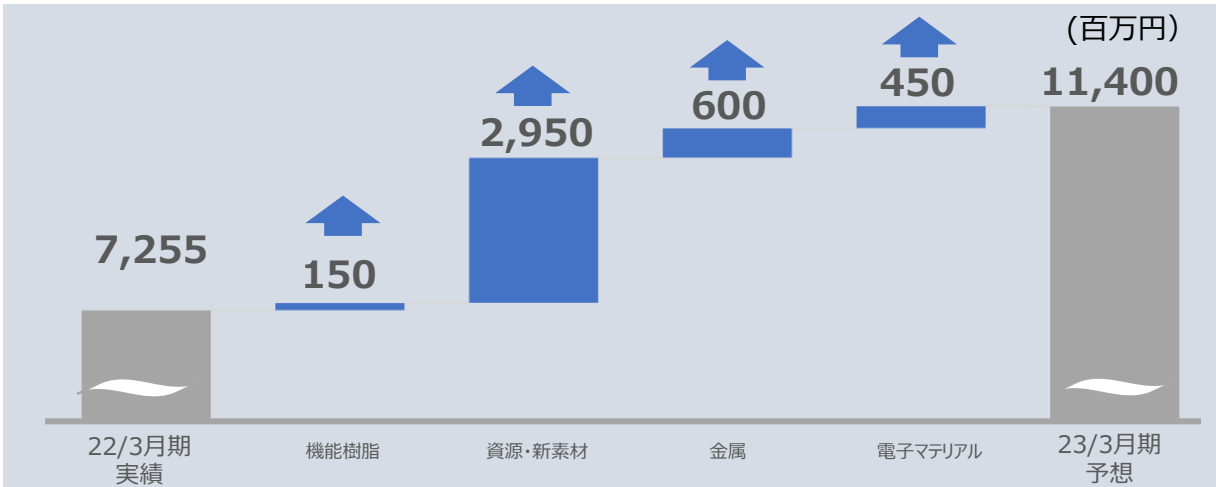
- ・電力料金・LNG市況上昇による製造コストへの影響**  
 (影響額見通し：前年比 約3,200百万円)
- ・製造業の生産動向**

# マテリアル事業の見通し

## 売上高・営業利益の進捗



## 営業利益増減見通し



## 通期業績予想の達成に向けて

### ・資源事業の拡大

- ▶ 下期も安定調達・安定供給に注力。

### ・環境商品（低環境負荷PET樹脂・バイオマス燃料・二次電池材料）の拡販

- ▶ 低環境負荷PET樹脂は需要増への対応。
- ▶ バイオマス燃料の安定調達。
- ▶ 次世代自動車向け二次電池材料の安定調達。

### ・海外金属加工事業の強化

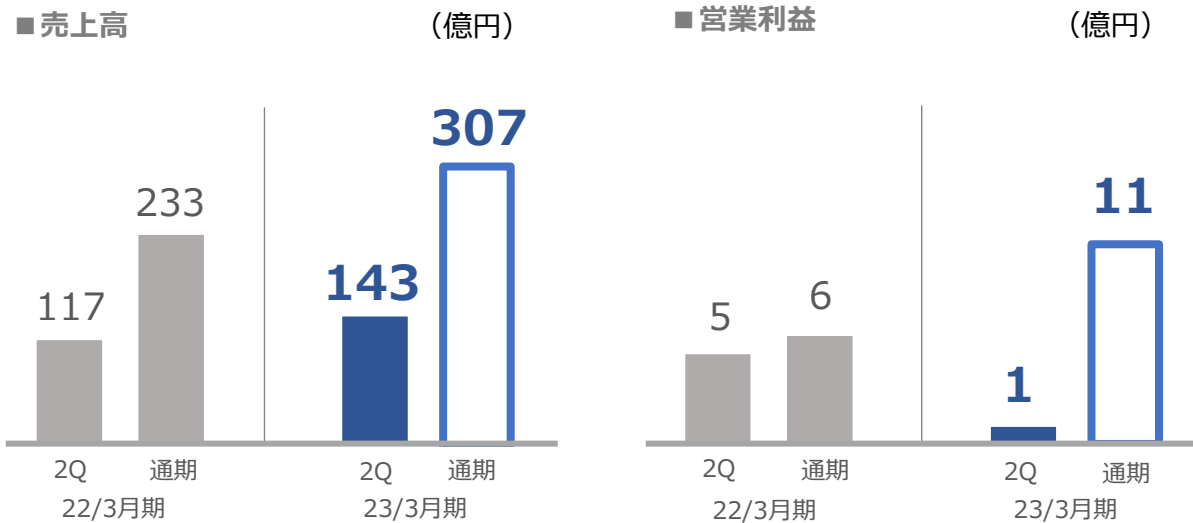
- ▶ 東南アジア・中国のエアコン向けを中心に拡販。

## 業績が変動する主な要因

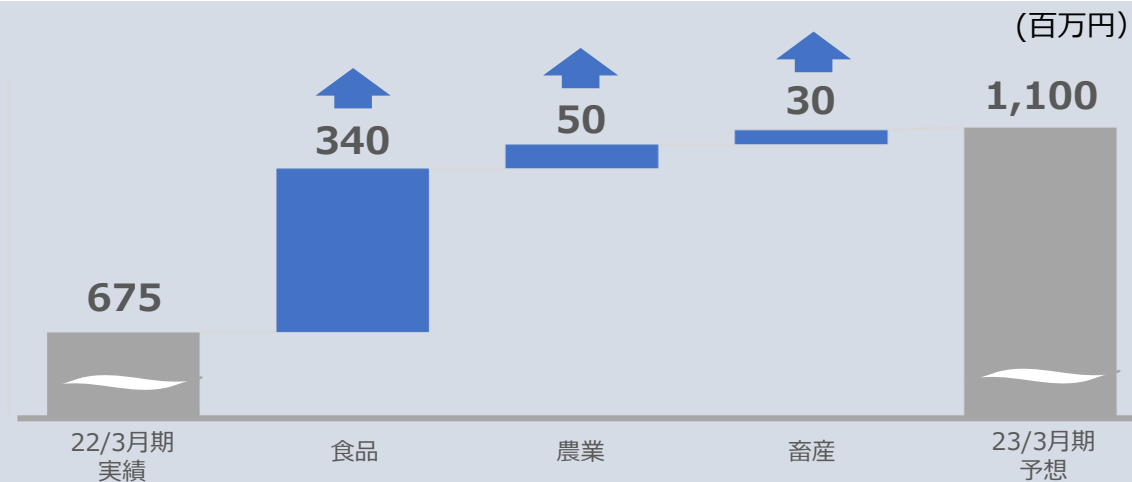
- ・資源市況の変動
- ・為替変動

# 自然産業事業の見通し

## 売上高・営業利益の進捗



## 営業利益増減見通し



## 通期業績予想の達成に向けて

- ・業務用および一般消費者向け冷凍食品の拡販**
  - ・インバウンド再開による外食需要の回復に伴い拡販強化。
  - ・原材料や物流費などコスト上昇分の価格転嫁により、収益性の改善。
- ・種豚の拡販**
  - ・種豚の販売増加により、収益確保。
  - ・飼料価格や電力料金等のコスト上昇懸念は継続の見通し。
- ・農業・畜産設備の拡販**
  - ・案件の積み重ねによる設備販売の強化。
  - ・資材や飼料価格上昇により、事業者の投資控えは継続する見通し。

## 業績が変動する主な要因

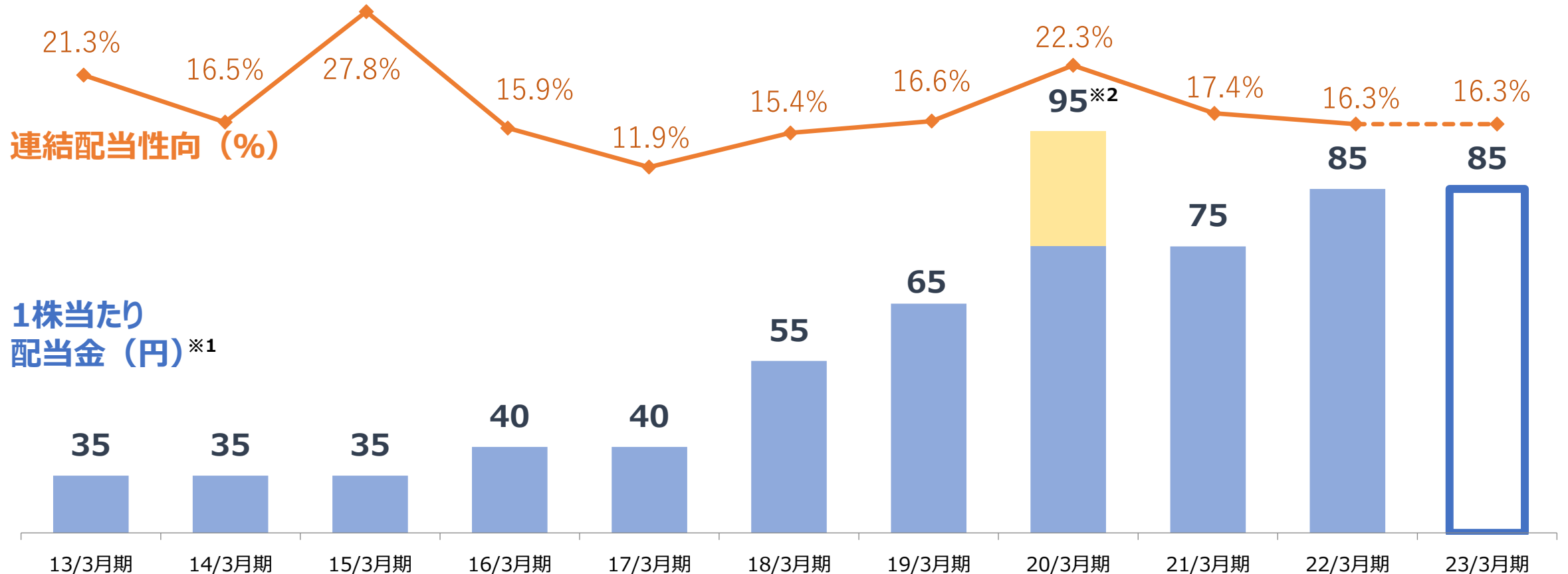
- ・為替変動
- ・原材料価格変動
- ・天候不良

# 株主還元について

▶ 2023年3月期は、1株あたり85円の配当を予定。

## 配当方針

- ・ 継続的かつ安定的な配当の実施が基本方針
- ・ 業績や経営環境を勘案しつつ適正な利益還元を実施



※1 2013年3月期～2017年3月期の配当については、2017年10月の株式併合（5株→1株）の影響を考慮した金額

※2 うち記念配当20円含む

Copyright © Iwatani Corporation. All rights reserved.

# 成長戦略

# 中期経営計画PLAN23の進捗

## ▶ PLAN23の方針を基に、経営目標達成に向けて着実に進行

テーマ	基本戦略
水素エネルギー社会の実現に向けて ～ 事業の枠組みを超えた挑戦 ～	1. 脱炭素社会に向けた取組み強化 2. エネルギー総合サービス事業者への進化 3. 海外事業の拡大
基本方針 「脱炭素社会に向けた戦略投資の強化」と「デジタル化の推進」	

経営指標	項目	2021年度 実績	2022年度 見通し	PLAN23 目標値
	経常利益 [市況要因除く]	464億円 [384億円]	465億円 [459億円]	400億円
	ROE (自己資本利益率)	11.7%	—	9%以上

# PLAN23における投資実績

## ▶ 3年間累計1,500億円の目標を掲げ、積極投資を実行

### PLAN23 成長投資目標と進捗



3年間累計  
1,500億円

水素エネルギー社会の推進  
600億円

成長投資  
700億円

保守・修繕など  
200億円

### 主な投資実績 ※2022年度内出資予定を含む

- JH y M出資等の水素ステーション建設関連(2021-2022)
- トキコシステムソリューションズ株式購入(2022)
- エネライフ株式購入(2022) 総合エネルギー
- 国内外での産業ガス製造プラント増設(2021-2022) 産業ガス・機械
- 岩谷オーストラリア 鋳区開発(2021-2022) マテリアル
- ユー・エム・システム株式購入(2021) 自然産業
- ルディック・マイニング社 チタン鋳石権益確保(2022) マテリアル



# 主な投資実績- 1

## ▶ 2022年度の主な成長投資実績

### ■ 成長に繋がる大型M&Aを実施。

#### トキコシステムソリューションズ(株)株式取得

##### ✓メーカー・エンジニアリング機能の強化

- ▶ 投資額：約168億円
- ▶ エネルギー・水素事業のシナジー効果

##### 【主な事業内容】

- エネルギーステーション建設事業
- エンジニアリング事業
- 環境事業
- 保守サービス事業
- 医療機器事業



トキコシステムソリューションズ(株)各種ディスペンサー

#### (株)エネライフ（旧：東京ガスエネルギー(株)）株式取得

##### ✓関東・首都圏地域のLPガス直売強化

- ▶ 投資額：約54億円
- ▶ LPガス安定供給および物流合理化

##### 【主な事業内容】

- LPガス卸販売
- LPガス直売
- 自動車用LPガスの販売



出所：(株)エネライフHP

# 主な投資実績-2

## ▶ 2022年度の主な成長投資実績

■ 海外投資案件も戦略的に展開。

### ルディック・マイニング社への出資

✓ 希少資源である高純度チタン鉱石の権益確保

- ▶ 投資額：約26億円
- ▶ 供給ソース多様化、安定供給体制の強化



採掘鉱区（予定）

### 産業ガス製造プラント増設

✓ 製造・充填工場の新設による海外事業拡大

- ▶ エアセパレートガスプラントの増設、  
産業ガス充填拠点の新設等による機能拡充



嘉興岩谷気体会社 空気分離装置（ASU）



大連岩谷気体機具会社 窒素液化装置

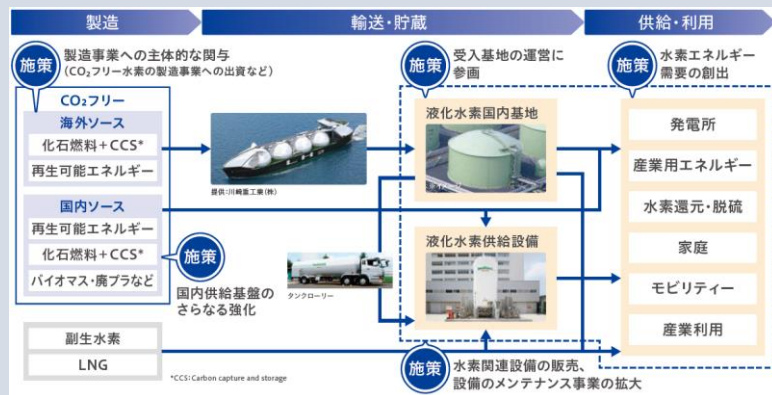
# 「脱炭素社会の実現」に向けた取り組み

## ▶ 液化水素サプライチェーンの構築に向けて

- 「液化水素サプライチェーンの商用化実証」の推進
- 2022年度 第2四半期 液化水素新規顧客 9 件（第2四半期として過去最高、水素実証案件含む）
- 大型モビリティ向けなど、実証用途の水素供給が拡大

### 日本水素エネルギー(株)への出資

- ▶ グリーンイノベーション基金事業  
「液化水素サプライチェーンの商用化実証」  
推進主体への出資及び人員派遣



液化水素サプライチェーン

### 水素需要の創出

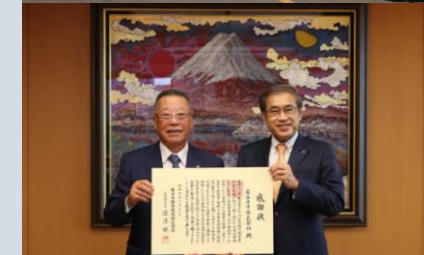
- ▶ 事業活動の脱炭素化など  
実証用途のニーズ拡大
- ▶ 水素ハイブリット電車や水素燃料電池船など  
大型モビリティ向け需要拡大



H2 KIBOU FIELD (パナソニック社草津拠点)  
出所: パナソニック株式会社プレスリリース (2022年4月15日)



水素ハイブリット電車  
「HYBARI」



水素供給に対する感謝状を受領



水素燃料電池船 (完成イメージ)

# 「脱炭素社会の実現」に向けた取り組み

## ▶ 水素アプリケーションの開発

- 燃料電池トラック等へ短時間で水素を供給する、大流量充填技術開発
- 水素切断機を始めとする、お客様の脱炭素化を支援する用途開発

### トキコシステムソリューションズ(株) 水素先端技術センター

- ▶ 大型商用車向け水素充填設備の開発
- ▶ 液化水素サプライチェーンに必要な計装製品の開発検討



水素先端技術センター（2022年9月1日運用開始）



水素ディスペンサー

### 水素切断機等、製造プロセスへの水素活用

- ▶ 水素ガスを使用して鋼板を切断する「水素切断機」の販売を開始
- ▶ 更なる用途開発、及び脱炭素に取り組む企業への提案



水素切断機


# 「脱炭素社会の実現」に向けた取り組み

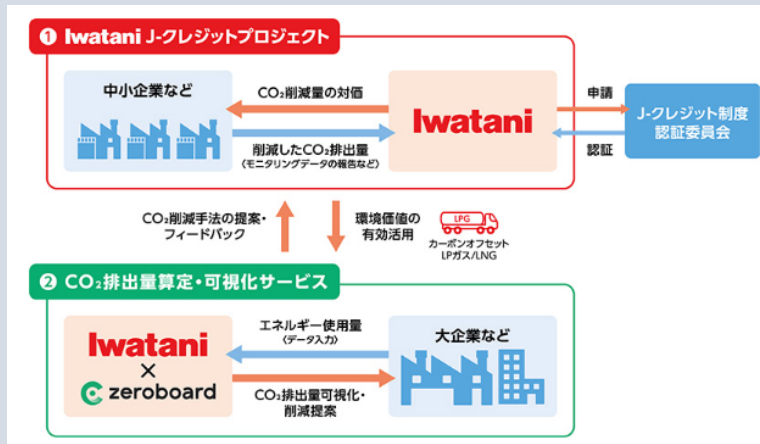
## ▶ 脱炭素ビジネスの拡大

- 2050年脱炭素社会の実現に向け、ガス&エネルギーの分野を中心に取り組みを推進

### Iwatani J-クレジットプロジェクト

✓ サプライチェーン全体のCO2排出量の可視化・削減量のクレジット化を進める

- ▶  J-クレジット制度 を活用しオフセットガスを供給



### 岩谷オーストラリア会社 植林事業へ参画し、カーボンクレジット取得へ

✓ ミネラルサンド業界において、カーボンニュートラルへの取り組みを開始

- ▶ 豪州カーボンクレジット（ACCUs）を取得し、自社のCO<sub>2</sub>排出量との相殺や豪州国内での脱炭素ビジネスに繋げる



## ▶ 統合報告書2022の発行

■ イワタニグループは事業を通じて環境問題などの社会課題の解決に取り組み、社会に対し新たな価値を提供し、自らも持続的に成長していくことを目指しています。

イワタニの  
価値創造プロセス

▶ イワタニグループの事業資本を基に、社会的価値を創造するストーリー

価値創造に繋がる  
イワタニの主要な資本

▶ 価値創造の源泉となる6つの主要な資本

社長インタビュー

▶ 社長が語る中長期ビジョン

持続可能な成長に向けた  
取り組み

▶ 重要課題（マテリアリティ）・SDG s の  
主な取り組み



# Iwatani

<お問合せ先>

**岩谷産業株式会社 経営企画部 IR担当**

TEL : 06-7637-3470 FAX : 06-7637-3333

Webサイト : <https://www.iwatani.co.jp>